

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月28日

配布数 6

回収数 6

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクールJR大和郡山

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	2 職員の配置数は適切であるか	1	2	3	0	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	・利用者が増える中、職員の人数が増えないのは課題だと思う。 ・セッション数に対して職員数は少ない。職員が増えれば話し合いの機会も増え、質も向上すると思う。	・職員については継続して募集を行っており、早急に体制を整えてまいります。今後もお問い合わせにお応えできるよう引き続き努力してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・片寄っているのかと思う時もあります。 ・リーダーが主となって決めるが、その時のメンバーによってどのような工夫をするかを確認話し合うようにしている。	・セッションの中で遊具の時間調整、手提示などは主になる指導員を決めています。その指導員がある程度活動プログラムを立てていますが、一緒にいる指導員ともお子様の実態を共有して、楽しく取り組める展開をみんなで考えています。主になる指導員も固定ではなく、毎回変えながら取り組んでいます。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・わかりません。 ・リーダーとなる指導員が立案する等。	・セッションのリーダー（主として進める人）となる指導員は毎回変えながら取り組んでいます。リーダーが基本立案しているもので、リーダーがかわることで遊びの幅も広がり、それぞれの得意な分野の遊びが展開し、固定化されない工夫をしています。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・開始前丁寧に話し合っている。 ・シミュレーションをして確認するようにしている。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・振り返りはあるが、もっと意見、今後の方向性を話し合うと良いと思います。 ・1人5分と決め、支援（セッション）の振り返りを全員で行う。次担当する人もプログラムを考えやすい。	・各セッション終了後、セッションの内容、保護者様とお話を職員間で共有する時間も都度設けています。一人当たり5分の中で施設長、職員から意見が出ることもありますが、時間が足りないことも多いので、わからないことや気になることがあれば、ポイントを押さえて他の職員に聞くなどしていきたいと思えます。 ・今後の方向性については、カンファレンス後や振り返りの後に、個人ファイルの「カンファレンスの意見など」の項目に書き込むことで、出勤の少ない非常勤の指導員とも情報の共有に繋がりたいと思います。
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・就学などの部分でもしっかり記録が取れているし、その支援にも努力している。		
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	1	0	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	・もっと連携を取れると子どもの為の支援につながると思う。	・今後も可能な限り、関係機関と連携を取っていきたくと考えています。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	0	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	・FLOW主催の研修に参加した。	
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	2	0	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	・分かりません。	・大和郡山市自立支援協議会や事業所連絡会など施設長が定期的に参加しています。
保護者への説明責任等	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・セッション後の保護者の方との振り返りで、お子さんの事で気になる事などを聞き、共通理解に努めている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎日セッションのあと悩み等あるか聞くようにしている。もし答えるのが難しい時は職員で情報を共有し、必要な支援を考え、伝えるようにしている。	
	30	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・二重、三重でチェックしている。	
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・地震の避難訓練をする週を設けて保護者の方も一緒に訓練している。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			